



光と花火 一夜限りの共演

長岡花火 ウィンターファンタジー

昨年、5千人が訪れ大好評だったイベントを今年も開催。
澄んだ空を長岡花火が彩り、音楽、きらめくイルミネーション
に囲まれた幻想的な空間を、どうぞお楽しみください。



オープニングは
長岡出身の歌手・中澤卓也の
トーク&ライブ

日時=12月1日(土) 午後5時30分~6時30分(午後3時30分開場)
場所=国営越後丘陵公園 ※荒天の場合は12月2日(日)に延期
または中止します

観覧料=1,500円(小・中学生700円)、イス席3,000円 駐
車料=普通車1,000円、大型車3,000円 観覧・駐車券販売
=11月30日(金)までにセブン-イレブン(30日は午後2時まで)、
国営越後丘陵公園(開園時間中)で ※当日券はありません
☎長岡花火財団 ☎39・0823



▲詳細はこちら

花火プログラム

- 7号5発 ブルーフェニックス
- ミュージックスターマイン
(クリスマスバージョンを含む6種類)
- 復興祈願花火フェニックス など

※飲食ブースやミニライブもあります

ROOTS 越後長岡
400年 長岡開府
四〇〇年 平成30年
vol. 8

園政策企画課
開府400年記念
事業推進室
☎39・2395

長岡開府から400年の今年、次の100年に向けた
まちづくり、人づくりの「新しい米百俵」事業を展開し
ていきます。

ゆかりの出来事などを連載で紹介しします。

「峠」映画化で注目!

河井継之助の生涯

河井継之助は文政10(1827)年1月1日、長岡藩士・河井代右衛門秋紀の長男として長岡城下(現・長町)に生まれました。

藩を支える人物になると誓い、江戸遊学後に西国を巡り歩きます。そこでさまざまな師に学び、帰藩後は郡奉行や町奉行、御年寄役(奉行・家老)、家老上席などを歴任します。

作家・司馬遼太郎は、継之助は慶応4(1868)年5月2日の小千谷談判の決裂が招いた北越戊辰戦争で、長岡藩の中立を守ろうとしたと記述しています。長



▲河井継之助記念館にある継之助像

■発行:長岡市(平成30年11月1日発行)
〒940-8501新潟県長岡市大手通1-4-10 ☎0258・35・1122(代)
※市政だよりは市役所総合ガイド、西・東サービスセンター、各支所で発行日から閲覧できます
※元号の表記は、新元号の公表までは「平成」とします

編集:広報課 ☎0258・39・2202/FAX0258・39・2272

■人口と世帯(10月1日現在) ※()内は前月比
人口/271,444(-15) 世帯数/107,374世帯(+101)
男/132,633人(+10) 女/138,811人(-25)

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp>

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています